



2017(平成29)年5月号

遠慶宿縁

新緑の季節になりました。たくさん
の花が咲き、とても過ごしやすい時期
とも言えます。花を見ると心が和みま
すが、同時に雑草もグングン成長して
おり、当会館でもこれから草むしりに
精を出すことになりそうです。

さて先月、山口県の自坊に帰省いた
しました。帰省と言いつても、ただ
遊びに帰った訳ではなく、住職である
兄からお寺の永代経法要で布教をし
てほしいと依頼があったからです。午
前・午後2座の法座において、ご法話
をさせていただくご縁をいただきました
した。自分が生まれ育った自坊での布
教ということ、少々緊張しましたが、
お参りの方々の温かくお聴聞される
お姿を見ながら、なんとか役目を果た
すことができました。

この度の布教において、仏教におい
ても大切な言葉である、「縁」を中心
にご法話させていただきました。今号
では、「縁」について触れていきたい
と思います。

「縁」とは、日常的によく使われる言
葉です。「この度はご縁がありました
:」や「今回はご縁がなかったよう
すね:」などでしょうか。仏教では、
「因・縁・果」とも言われ、「因」と
は、結果をもたらす直接的な原因、「縁」
とは結果をもたらす間接的な原因や
条件を表します。そして、因と縁によ
って生じるのが「果」となります。

草花を例にすると、因は草花の種と
いう直接的原因、縁は花を咲かせるた
めに必要な土・水・太陽などの間接的
原因や条件、そして花が咲くという結
果となります。すべての事柄は、縁に
よって起こる事から「縁起」とも言
います。しかし、縁起と聞くと縁起が良
い・悪いなどを使うことが多いのでは
ないでしょうか。

宗祖親鸞聖人は、『教行信証』の中
で、次のように仰せになりました。

「ああ弘誓の強縁、多生にも値ひがたく、

眞実の浄信、億劫にも獲がたし。

たまたま行信を獲ば、遠く宿縁を慶べ。」

このお言葉の意味を要約すると、阿
弥陀如来の本願のはたらきは、遠い因
縁によるものであり、私たちのはから
いを超え、眞実の教えに、はからずも
あえたことの慶びが示されているの
です。

私たちは人生で様々なご縁に出会
います。自分にとって良いと思う縁が
あれば、そうではない縁もあります。
お寺へお参りされるようになったご
縁も様々でしょう。実家の宗旨が浄土
眞宗だった方、大切なご家族を亡くさ
れた方、人生の悩みを解決するために
お寺を訪ねられた方などでしょうか。
いずれにせよ、今私たちは手を合わ
せ、南無阿弥陀仏とお念仏を申すご縁
に出遇わせていただきました。それは、
私がおかたはたらきを起す前に、阿弥
陀如来の方から「我にまかせよ、必ず
救う」という願い(本願)を起さされ、
念仏申す身に育ててくださったので
す。

どうぞ、これからも阿弥陀如来のご
本願のおいわれを一緒に聞かせて
いただき、お念仏申す人生を歩んで参
りましょう。

仏事あれこれ

仏事のQ&A

Q. 法名は死んでからの名前？

A. 生前にいただきますよう！

「ご本山で法名をいただいたら…」と、ある門徒に勧めたところ「あれは死んでからもらうのじゃないですか？」と聞き返されました。「釋○○」という法名は「死んでからの名前」と思っている方がいるのです。確かに、亡くなった時に、手次のお寺の住職が法名をつけ、葬儀に臨まれることが多くあります。しかし、それはあくまで「緊急」の処置で、本来の姿ではありません。

そもそも、法名というのは、「仏法に帰依した人の名前」で、主に本願寺で行われる帰敬式（おかみそり）を受けた人に対して、本願寺住職（ご門主）から授与されるものなのです。つまり「仏教徒としての自覚を持って生きる」証しの名前であり、生きている間に

に授かるべき性質のもので、

葬儀の時、導師の住職が「おかみそり」を行うのは、生前、こうした帰敬式を受けることなく亡くなったからで、本願寺住職（ご門主）に代わって行っているのです。

「それでは葬儀の時も、俗名のままでよい」と言われる方があるかもしれませんが。しかし、「亡き人は阿弥陀さまの救いによって浄土に生まれ、仏さまになられている」のです。そうした亡き人を偲ぶ時、俗名でなく法名がふさわしいと言えましょう。

ところで、浄土真宗では「戒名」という言い方はしません。なぜならば、戒名は、自力修行をめざし受戒した人に対して授けられる名前であり、自力修行をしない浄土真宗にはそぐわないからです。まだ法名をいただいでいないご門徒は、ぜひ帰敬式を受けられ、名実とも「浄土真宗の門徒」になってください。

新・仏事のイロハ』より抜粋

お知らせ

日帰りバス研修旅行開催！

期日 平成29年6月25日（日）

場所 埼玉県内の寺院参拝・観光

定員 25名（定員になり次第締切）

会費 10,000円（奉讃会会員）

15,000円（一般）

約七年ぶりに当会館奉讃会主催の日帰り研修バスツアーを開催いたします。詳細は、同封のチラシをご参照ください。皆さま、是非ご参加ください。

平成29年の年回表

（ご法要のお申し込みをお忘れなく）

平成29年 年回表	
1周忌	平成28年
3回忌	平成27年
7回忌	平成23年
13回忌	平成17年
17回忌	平成13年
23回忌	平成7年
25回忌	平成5年
27回忌	平成3年
33回忌	昭和60年
50回忌	昭和43年

4月行事の様子

★はなまつり 4月16日(日) 10時～15時

午前の部では、子ども会や近隣のスカウト達など25名の参拝があり、
午後の部では、23名の方が参拝されました。



ゲーム



仏さまのお話



灌仏（甘茶かけ）



参加した子ども達と記念撮影



お菓子の掴み取り！



法要「正信偈」



横内教順師



4月の誕生日の皆さま



法要「正信偈」をお勤めした後、
東京教区布教使の若手ホープ・
横内教順先生より仏願（ご本願）
について、わかりやすくご法話
いただきました。

▶ 5月の行事予定

常例法座

ご講師 友岡 栄玄師

(東京都 江戸川布教所妙蓮寺)

5月14日(日) 午後1時～

どうぞ、お気軽にお参りください。

親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか？

5月16日(火) 午前7時～

お供物のおさがりをプレゼントいたします。

おみがき・境内清掃

降誕会に向け、本堂の仏具・境内の清掃を

5月21日(日) 午前10時～

行います。ご協力よろしくお願ひいたします。

▶ 6月の行事予定

降誕会・奉讃会総会

ご講師 西村 信也師

(神奈川県 西法寺)

6月4日(日) 午後1時～

宗祖親鸞聖人のご誕生をお祝いする法要です。

懇親会も行いますので、是非ご参加ください。

第1回キッズサンガ子ども会

小中学生対象です。小さなお子さまは、

6月17日(土) 午前10時～

保護者同伴でご参加ください。

日帰りバス研修旅行

埼玉県比企郡の寺院参拝・観光をいたします。

6月25日(日)

お申込みは、同封のチラシでお願いいたします。

お仏飯米ご進納のお願い

当会館では、皆さまからのお仏飯米を随時受付しております。いただいたお仏飯米は、お晨朝(朝のお勤め)にお供えしております。皆さまのご協力よろしくお願ひいたします。

編集後記

毎朝、当会館の境内に近所の子も達5人が集まり、私の長女も含めて小学校まで集団登校しています。さほど遠くない通学路ですが、昨今の犯罪事情を考えると、親としては集団登校してくれど安心します。近いうちに、子ども会にも誘ってみようかと時期をうかがっています。(安)

東久留米会館会報 「ともしび」

第253号

発行日 2017年5月1日

発行者 安邊 泰教

住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30

電話 042-474-6787